



(財) 日本自転車普及協会
会長 阿部 毅 一 郎 殿

交通安全活動の効果的な展開について (依頼)

拝啓 秋涼の候 貴台にはますます御清栄のこととお慶び申し上げます。

貴協会におかれましては、平素から交通警察行政各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の交通事故による死者数は、6年連続の減少となり、昭和30年以来51年ぶりに6千人台前半(6,352人)まで減少いたしました。また、本年も、8月末現在で3,648人(前年比-361人)と減少傾向で推移しており、これも関係団体等の皆様方の交通安全の取組みによるものと心より感謝申し上げる次第であります。

しかしながら、依然として多くの尊い命が交通事故により失われている現状に変わりはなく、これから年末にかけての時期は、例年、交通死亡事故が増加する傾向にもありますところから、「平成24年までに交通事故死者数を5,000人以下にする」との政府目標の達成に向け、交通死亡事故抑止対策をなお一層推進し、交通死亡事故の減少傾向を更に定着させる必要があると考えております。

また、昨年来の飲酒運転根絶に向けた各方面の取組みにより、飲酒運転による事故は減少傾向にありますものの、依然として、飲酒運転による悲惨な死亡事故等は後を絶たない現状にあります。先の国会で成立した改正道路交通法のうち、飲酒運転及びこれを助長する行為に対する罰則の強化等に係る規定が9月19日に施行される所であり、これを契機として、飲酒運転の根絶に向けた取組みを一層推進し、「飲酒運転をしない、させない」という国民の規範意識の確立を図る必要があると認識をしております。

こうしたことから、警察といたしましては、本年10月から年末までの3箇月間、

- 飲酒運転の根絶
- 事故多発時間帯(薄暮時間帯・夜間)に重点を置いた交通死亡事故の抑止
- 高齢者(特に歩行者・自転車利用者)の交通死亡事故の抑止
- 自転車に係る交通死亡事故の抑止
- 後部座席を含めたシートベルトの着用とチャイルドシートの正しい使用の徹底

などを重点推進事項として、飲酒運転の根絶に向けた諸対策を強力に推進するとともに、交通死亡事故の発生実態を踏まえた指導取締りや関係機関・団体の皆様と連携した街頭における広報啓発活動を強化し、交通事故死者の更なる減少を目指して取り組むこととしております。

つきましては、これらの対策の趣旨を御賢察いただき、関係職員の方々や傘下団体、関係事業所等に対しまして、上記の推進内容等について周知していただきますとともに、各都道府県警察におけるキャンペーンや交通事故防止活動等に御協力いただくなど、交通安全活動の効果的な展開について、特段の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

末筆ながら、貴協会の益々の御発展を祈念申し上げます。

敬具

平成19年9月12日

警察庁交通局長
末井 誠 史

